

エゴについて深掘り。

ここが説明できていませんでした。



# ACIMを学ぼうとするのは

- 生きづらさ
- 自分や他人を非難する声が辛い
- 暗い思いにとらわれる

# エゴの声が自分

- ひっきりなしに騒ぐ"暗い声"
- 「自分はダメな人間だ、悪いひとだ」
- 悪口・愚痴・非難・批評・比較

# エゴの声を聞く自分が育つ

- 悪口・愚痴・非難・批評・比較
- エゴの声をいっていることを、  
少し距離を持って聞いている自分ができる  
けれど、、、

# 奇跡のコースの学びが進むと

- でも、その声を脇に置くことができない
- 「またエゴに負けた」とさらに苦しむ



# 奇跡のコースの学びが進むと

- 投影のシステムで

全部外に投げかけて、ひとのせいにする  
ことはもうできない。

# 1番つらい――停滞期

- 投影はわたしがしているんでしょ！
- 分かっているのに、まだやっているんなんて「全部私が悪いんでしょ！私こそが悪いのよ！」

# 1 番つらい――停滞期

- 進歩が感じられず、喜びが減る
- 以前「奇跡」と思った程度のことでは、「奇跡」と感謝できない
- 「またエゴに負けた」という思いが強い



# 停滞期の思考パターン

- クラス・レッスンをやらないと、  
学ぶ前の暗い思いに  
囚われている
- 自分なりに論理的な思考 = 正しさ
- 努力もしていないんだから、結果出る  
わけないし、、という囁き

# 停滞期――抜けるためヒント

- － クラス・レッスンをやらないと、  
学ぶ前の暗い思いに  
                    囚われていることに気づく
- － 少しでも思い出すと「光」ってこういう  
うことか、という経験が来る
- － よろよろと続ける

# 停滞期－では、何をすると良いか？

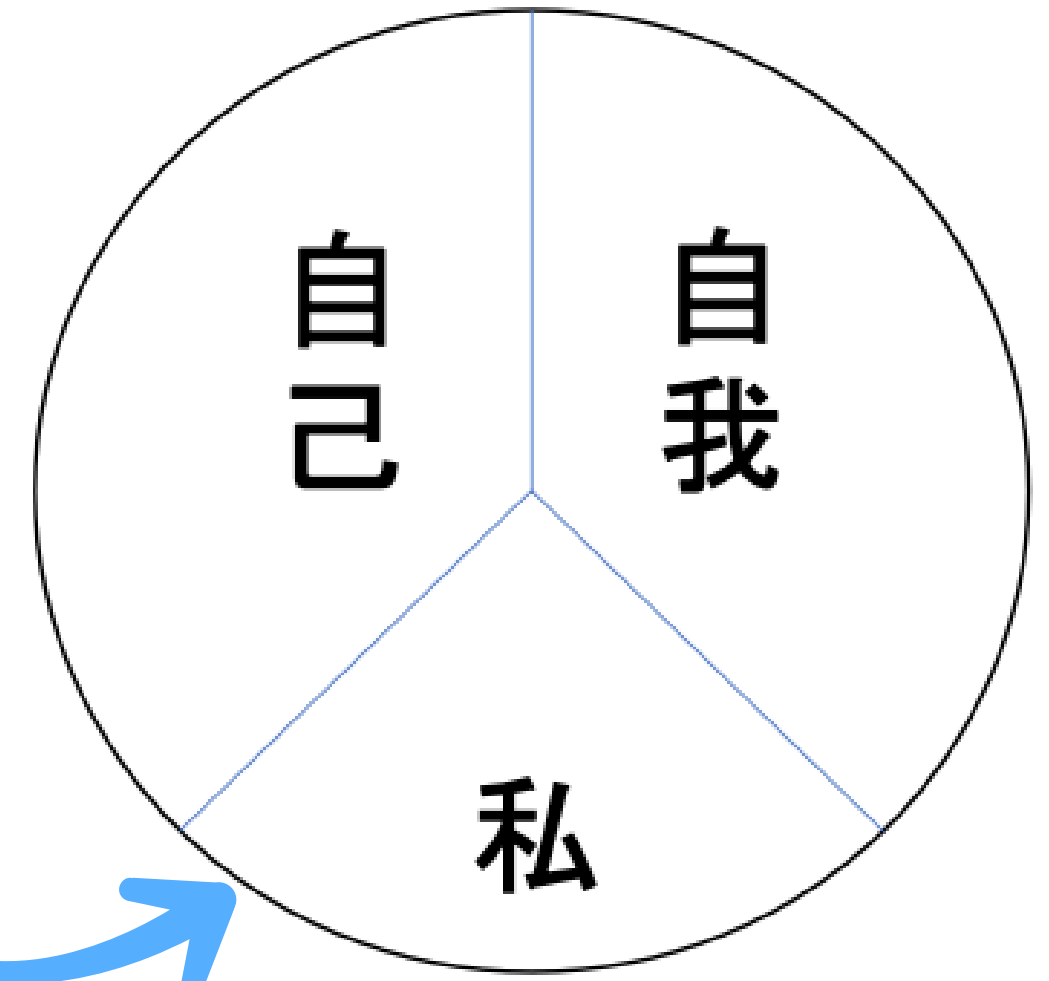
- － エゴを批判する「声」は、エゴの声だ  
ということを理解する視点
- － 聖霊の実在を感じるようにする

# エゴの声を批判するエゴの声

– 下の「私」であるかのように、  
エゴの声を聞いている主体のふり  
をするエゴ

– エゴを冷静に見ている

「正義の兄」 「励ましの声」の仮面をかぶる



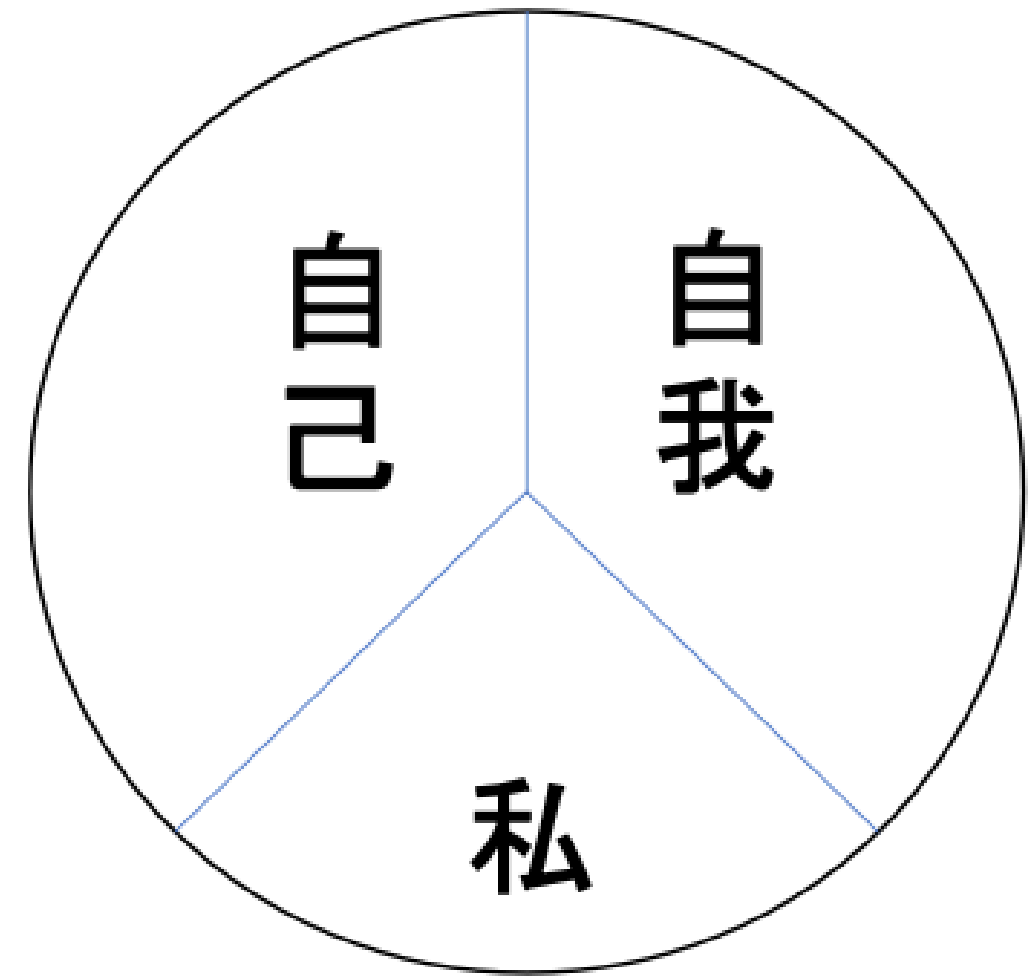
# これこそがエゴのトリック！

- エゴを冷静に見ている

「正義の兄」

「励ましの声」の仮面をかぶって

イエスや、聖霊のフリをしている **エゴ**





# The voice for God (T-5.11)

あなたの内には二つの声があります。  
一つはあなた自身が作り出した声で、それは神のものではありません。  
もう一つは神が与えてくださった声であり、ただその声に耳を傾けるよう神は願っておられるのです。

# The voice for God (T-5.11)

聖霊は「喜びの霊」です。

聖霊の声は命じることがありません。

また要求することもあります。

# The voice for God (T-5.II)

あなたが騒乱を生み出しているとしても、その只中で静かに「もう一つの道」を心に思い起こさせます。

神の声は常に静かです。



# The correction of error (T-9.III)

エゴにとっては、  
誤りを指摘し「正す」ことが親切であり、  
正しく、善いことだと見えるのです。

# The correction of error (T-9.III)

聖霊はエゴの誤りを知覚することはありません。  
もし誤りに少しでも反応しているなら、  
あなたは聖霊に耳を傾けてはいません。

聖霊は沈黙し、訂正は神から来ることを知っているのです。

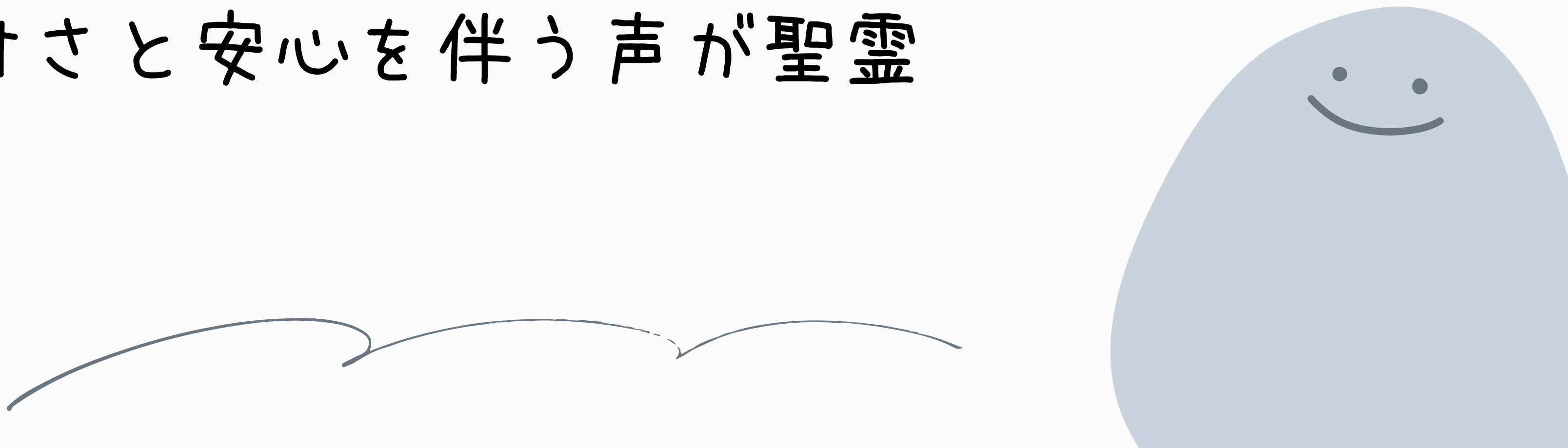
# 静かなる聖霊の声

ー 出張で大切なガンマイクを忘れた!!

・ 報道ステーションの  
大越キャスターとのロケ

# まとめ

- 聖霊の声は命じない・責めない・裁かない
- 静かに「思い出させる」声
- 責めや比較の声はエゴ
- 静けさと安心を伴う声が聖霊



Thank you!

